

KaVo最新ニュースや国内外の歯科トレンドなど、お得な情報をお届けします

カボニュースレター



2012年6
6月号

Inspired by our patients.

すべての患者さまに 安心いただける診療を

KaVo社100年の歴史は、歯科医療に数々のイノベーションをもたらしました。例えば、トリートメントユニット。1965年に初めて患者さんが寝たままの治療を可能にして以来、常に人間工学を重視した設計で診療時の快適性を追及しています。Dental Excellence —— これからもKaVoは信頼に富む製品で、世界中の人々の美しく健康的な歯をサポートし続けます。

コンテンツ

- トピックス Topics
- 先生のメッセージ Message
- KaVoユーザーのご紹介(海外) Voice of Customer
- サービス豆知識 Service trivia
- 新製品紹介 New product
- 出展 Exhibition
- 海外トレンド Trend of the world



KaVo. Dental Excellence.

カボデンタル賞のご案内

歯科医療の発展の一助となるため、日本顎咬合学会および日本補綴歯科学会の学術大会においてカボデンタル賞を開始することになりました。

日本補綴歯科学会では、学術大会のポスター発表で〈教育〉〈症例〉に関する優秀な2演題に、カボデンタル賞(副賞 プロトター evo3 平均値咬合器)が授与されます。

5月26日(土)、27日(日)に開催された第121回学術大会において、〈教育〉では昭和大学の螺澤庸博先生の「Virtual Patient Systemの補綴実習への応用」が、〈症例〉では徳島大学の細木真紀先生の「チタンを原因とする金属アレルギーが疑われた症例」が受賞されました。

日本顎咬合学会では、学術大会において、卒後10年程度の若手歯科医師で〈咬合〉が含まれたポスター発表の最優秀発表者1名にカボデンタル賞(副賞 プロトターevo7 半調節性咬合器と

ARCUSフェイスボウ)が授与されます。

第30回学術大会は、6月9日(土)、10日(日)に東京国際フォーラムにて開催され、受賞者が決定されます。



社団法人日本補綴歯科学会 第121回学術大会
カボデンタル賞 受賞者
細木真紀先生(左から2番目)
螺澤庸博先生(真中)

第30回 日本顎咬合学会学術大会・総会

第30回 日本顎咬合学会学術大会・総会において弊社主催のランチョンセミナーとテーブルクリニックを設けています。日常の臨床症例における弊社製品の活用法について分かりやすくご説明いたします。ぜひお立ち寄りください。



6月9日(土) 15:10~16:20

B2F 展示ホール テーブル9

「咬合が引き起こすカリエス」

小嶋歯科クリニック 院長 小嶋 壽 先生



6月10日(日) 12:30~13:30

ガラス棟 G502

「カボシステムによる究極の総義歯」

稲葉歯科医院 顧問 稲葉 繁 先生



会場:東京国際フォーラム

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

第30回 日本顎咬合学会学術大会・総会

<http://www.ago.ac/30th/>

2011年イノベーション賞&レッドドットデザイン賞をダブル受賞

歯科医師4,000人以上の投票で最優秀賞獲得

このたびKaVo無影灯であるカボラックス540LEDが、ドイツでイノベーション賞を受賞しました。この賞は4,000人以上の歯科医師の投票により、「材料とインストゥルメント部門」、「デバイスとイクイップメント部門」でそれぞれノミネートされた上位10製品の中から、その年の歯科医師にとって最も画期的な製品が決定されます。カボラックス540LEDは、お客さまの高い評価をいただき、「デバイスとイクイップメント部門」最優秀賞に選ばれました。

さらに、カボラックス540LEDは優れたデザインとソリューションを提供する機能を兼ね備えた製品に贈られる国際的なレッド・ドットデザイン賞も受賞しました。



reddot design award
winner 2012



授賞式にドイツ本社
インターナショナルプロダクトマネージャー
Racine Oliver (右) が出席

カボラックス540LEDは、最新技術のLEDにより 診療に最適な照明を提供します

- ▶ 異なる4色のLEDと独自のオプティカルライティングシステムが実現する高品質の自然な照明
- ▶ 範囲が的確に限定され、均一かつ影がでにくい照射域
- ▶ 早期の硬化が起きず、充填材を問題なく処理できるCOMPOsaveモード
- ▶ センサー式スイッチとロック可能な3Dジョイントで、取り扱いが簡単かつ実用的
- ▶ 最新のLED技術とファンレス冷却による長い製品寿命と最小限の消費電力
- ▶ ファン音がなく静寂



KaVoLUX 540 LED

レーザーモード新搭載

ダイアグノデントと同時にご使用いただいてもダイアグノデントの数値測定に影響を与えないモードを新しく搭載しました。



COMPOsaveモード

最適な診療を可能にする新技術

LED照明の「無影灯を暗くしてもコンポジットの硬化が起こりやすい」という問題を解消します。COMPOsaveモード設定で光の青色成分を抑えるため、充填材の硬化速度が遅くなります。光重合材を慌てて扱うことや、照明を必要以上に落とすこともありません。15,000ルクスの照明を保ち、最善の診療のための最適な視界をいつでも確保します。

技術仕様

入力電圧	24 V AC
周波数	50/60 Hz
消費電力	最大 35 VA
照度	約8,000 lx~40,000 lx
色温度 (段階的調整機能あり)	約4,000 K~6,000 K
演色評価数	>93% (約5,500 K / 6,000 K)

販売名:カボ LUX 540 LED
届出番号:27B1X00039000059

取付け可能トリートメントユニット

KaVoLUX 540 LED U : エステチカシリーズ (E50、E70、E80)

KaVoLUX 540 LED T : プリムス1058、ステータス1080、エステチカ コンフォート1065、エステチカ センサス1066、天吊り

平井 順 先生：歯を保存するための良きパートナーに期待する

祝・カボデンタルシステムズジャパン

品川駅を中心とする一帯は、ここ数年の再開発により、高層ビルが林立する新たな商業地区へと変貌を遂げ、今、都内で最も注目されている新しいエリアである。

御殿山はそんな品川駅にほど近く、古くから都内でも有数の緑の多いロケーションに恵まれた地区として知られている。新生「カボデンタルシステムズジャパン」がこの御殿山に東京本社を移転したことはカボのステイタスを象徴する場所として、どこよりも新天地にふさわしいと新鮮なインパクトを感じたのは私だけではないだろう。

坂野弘太郎新社長のもと、現在着々と新体制での事業展開がその全貌を現してきているが長い年月を経て培われてきたドイツ製品らしい揺るぎない安心と安全性を持つ先端技術に日本的繊細さがプラスされれば更なる大躍進は間違いないだろう。



東京本社受付にて坂野社長といっしょに

カボ製品と私

私とカボ製品の付き合いは、今から30年前 カボデンタルジャパンの前身である株式会社城楠歯科商会を通してスタートした。

時代の先端をいく憧れのユニットとの出会いは、自分の理想を実現する素晴らしいパートナーとの出会いだっただ。信頼できるユニットは、まさに安全で間違いのない高度な技術を、日々たしかに患者さまに提供できていることを実感させてくれた。歯科医師としてこれ以上幸せなことはないだろう。

カボのユニットには他社の製品にはない、優れた特徴が数多くあり、日々それは進化していて目をみはるばかりであるが、日本においては2001年に発売されたKaVo PROTAR咬合器の出現も、私自身の診療をこれまで以上に充実させることになった。私は「咬合は鍵なり」という言葉を座右の銘にしている。そして診療の目標を「エンドに始まり咬合に終わる」ことだと考えて臨床で実践してきた。今までスチュアート咬合器やデナーD5A、サイバーホビー、また、半調節性咬合器ではウィップミックス、デナー・マークII、ハノー、デンタータス、パナホビーなどを使用して来た経緯がある。そうした中でKaVo PROTAR evo7は精度に信頼性が

持て何よりも使い勝手が良いため現在はこれを主に使用している。

日常の臨床では、まず中心位で咬合器にマウントし、診断することをスタートにしている。補綴物は10ミクロンレベルで、リマウント調整を行っている。こうした一連の作業もカボの咬合器は、高精度が実現できる。臨床では現在8台のKaVo PROTAR evo7がフル稼働し納得の結果を出してくれていることに満足している。

私のエンドシステムとカボ

1983年に私の考案したエンドシステムを発表したが、このシステムは難しいとされている弯曲根管を安全・確実に根管本来の形態に沿った根管内壁拡大形成を可能にするためのシステムでカボ社の超低速コントロールが可能なタービン スーパートルクがあったからこそ実現できた形成法である。以来、数々の改良を加え、今日に至っている。その間約30年間、カボ社のユニットを使用しながら年間6回のエンドの研修会を開催してきた。おかげさまで、多くの先生方の支持を得て、私のエンドシステムも臨床の中に定着している。これからも、歯を残すことの重要性を、受講生の先生方と共に真剣に考えていきたいと思っている。



御殿山の新社屋での研修風景 2012/02/26



臨床で活躍するKaVo PROTAR

- 平井 順 先生
平井歯科医院(神奈川県川崎市)
1977年 日本大学歯学部卒業
- ・国際学士会日本部会理事
 - ・明海大学歯学部臨床教授
 - ・日本顎咬合学会常任理事
 - ・米国歯内療法学会正会員
 - ・日本顎咬合学会指導医
 - ・米国歯周病学会会員
 - ・日本歯内療法学会認定指導医

Trying out the NEW CAD/CAM System 「KaVo ARCTICA」

ドイツのビバラッハ・アン・デア・リスにあるデンタルラボ Gerd Brüstlは、KaVo エベレスト (EVEREST CAD/CAMシステム)を利用してジルコニウムのオールセラミックフレームワークなどの業務を4人のスタッフで行っています。

2011年8月から発売前モニターとして、非常にコンパクトでありつつもエベレストの高性能を有する新製品KaVo ARCTICA(アークティカ) CAD/CAMシステムの「KaVo ARCTICAエンジン」(加工機)および新ソフトウェア「KaVo multiCAD」(現行のEVEREST scan proに追加)を利用する機会を持つことができました。

新ソフトウェア

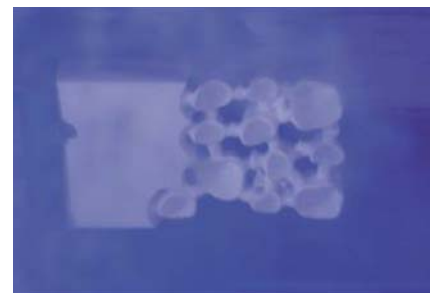
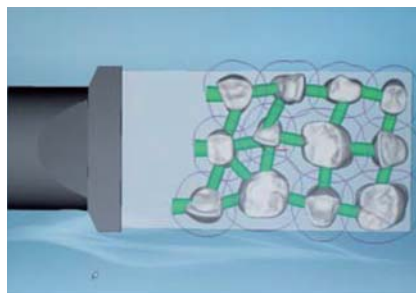
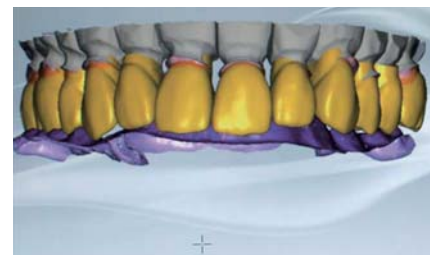
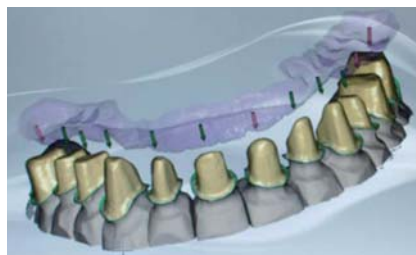
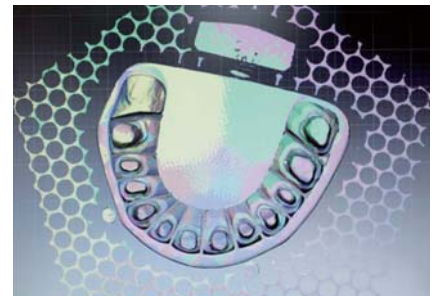
KaVo multiCADとEVEREST scan pro

「KaVo multiCAD」ソフトウェアは、ユーザーの仕事の流れを考慮したステップになっており、ユーザーインターフェイスも非常に分かりやすくレイアウトされています。更に、数回のクリックで簡単に操作が行え、コーピングの厚さやフィットの変更がデザインの段階でも自由に変更できるようになり、素早くデザインに取りかかれ高画質で細かい作業がスムーズに行えるようになりました。

「KaVo ARCTICAエンジン」

「KaVo ARCTICAエンジン」(加工機)に装備されたモニターに映るユーザーインターフェイスも論理的にレイアウトされています。加工開始前に加工材料と加工工具を選択し数秒以内に加工を開始できます。

EVERESTエンジンと同様に、ARCTICAエンジンも5軸モーションにより、加工ブロックの位置の固定や取り付けも簡単で加工結果はパーフェクトです!



デンタルラボラトリー Gerd Brüstl
Schwanenstraße 12
88400 Biberach an der Riß, Germany

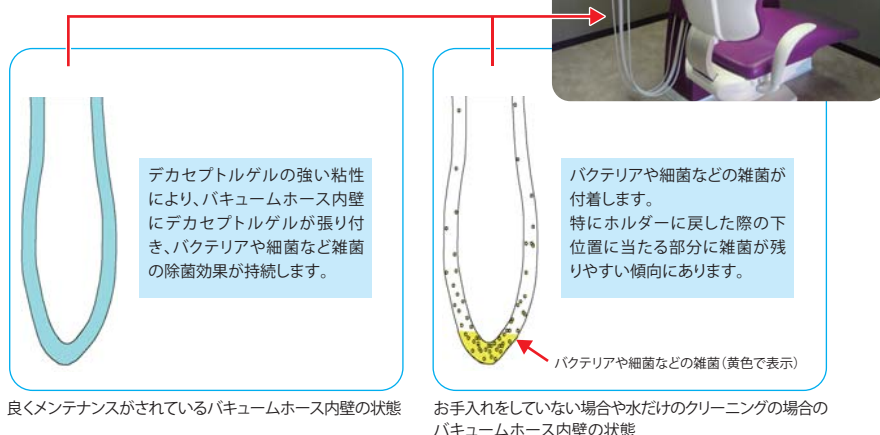
KaVoユニット日常のお手入れ バキュームホース

バキュームホースは、診療中の患者さんの唾液や血液等を吸引しますので、患者さんの診察後ごとおよび毎日の診療後のお手入れが非常に大切です。

お手入れを怠ったり、推奨手順でない水だけによる洗浄では、ホース内側にバクテリア等の雑菌が次第に繁殖します。

これが継続すると、より強固なバイオフィルムがホース内壁に形成されます。

ぜひ、患者さんの診療後、毎日の診療終了後のメンテナンスをお願いします。



良くメンテナンスがされているバキュームホース内壁の状態

お手入れをしていない場合や水だけのクリーニングの場合のバキュームホース内壁の状態



デカセプトルゲルはヤシの実の成分から作られており、高い除菌効果があります。毒性はなく、人体には無害です。バキュームホースやスピットン周辺の排水ラインのクリーニングと除菌に使用してください。

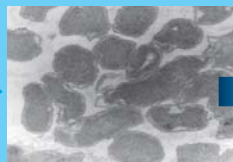


デカセプトルゲル 基本セット
デカセプトルゲル 1L 3本
ディスペンサー 1本
(製品番号 1.000.7204)

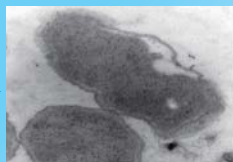
雑菌に対する効果 (顕微鏡写真)



デカセプトルゲル使用前の細胞



デカセプトルゲル添加後、数分で細胞膜が破壊されていきます。



破壊された細胞はリンスによって洗い流されます。

バキュームホースの衛生構造

カボのバキュームホースは、内壁に付着するバクテリアや細菌などの雑菌の除菌力を最優先にしています。ホースは3層構造とし、水消毒システムやデカセプトルゲルとの併用で長く抗菌効果が得られる材質を利用しています。使用頻度にも依りますが、カボのバキュームホースの寿命は約半年～1年となっています。

患者さんの診療後のお手入れ

A: ホース内の洗浄 患者さんの診察後、チューブ内に残存している患者さんの唾液や血液などを以下の手順で簡単に洗い流します。

A1: アクアマットポートが存在する機種 E80、E70、1066、1065、1062 など



バキュームホースのリンス



排唾ホースのリンス

※写真は1080での例

- ①バキュームホースをアクアマットポートに差し込み約3秒ほどホース内をリンスします。
- ②排唾ホースも同様にリンスします。

A2: アクアマットポートが存在しない機種 E50、1058 など

- ①コップ給水からコップに約150CCの水を準備し、バキュームホースでコップの水を吸わせます。
- ②同様にして、排唾ホースでコップの水を吸わせます。



*水消毒システムが搭載された機種では、この洗浄に使用する水は0.025%で希釈されたオキシゲナルが含まれており、より効果的です。

B: ホース外側のお手入れ



- ①ホースの外側は、ワイプを使用しアルコールクリーニングを実施してください。

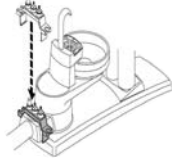
注意:バキュームホースのお手入れをする際は、ゴム手袋の着用をお願いします。

毎日の診療後のお手入れ

C1: E80、E70の場合

E80、E70はデカセプトルゲルのボトルがスピット内に装備されていますので自動でバキュームホースのメンテナンスが実施できます。

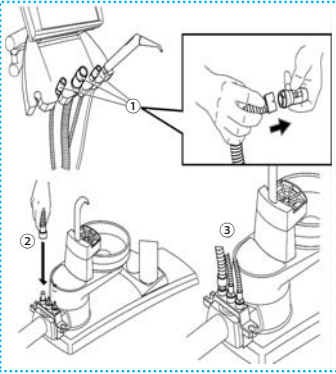
①アダプターをセットします。



②ハイドロクリーンボタンを1回押します。



③準備モードに入りますので図のようにホースをセットしてください。



④準備完了後、ハイドロクリーンボタンを再度押します。ハイドロクリーンのプログラムが作動し、デカセプトルゲルによるバキュームホース内の洗浄が自動で行われます。約20分でプログラムが終了します。



⑤ホースを元に戻します。次に、患者さんの診察後ごとのクリーニングで実施したBのホース外側のお手入れを実施します。

C2: E80、E70以外の機種

E80、E70以外の機種では、デカセプトルゲルのボトルにディスペンサーを取り付け手動によるメンテナンスが必要です。

①患者さんの診察後ごとのクリーニングで実施したA1またはA2の方法でホース内を洗い内壁を湿らせます。

②図のようにホースをセットし、ディスペンサーをワンプッシュしてデカセプトルゲルを吸わせませす。最初のこの操作は、日中の診察で付着したバクテリアや細菌などの雑菌を除菌する作業です。

▼ホースをディスペンサーにしっかりあて、ワンプッシュします。



ゲルを吸わせただ後、ホースをホルダーに戻し約5分待つてください。(デカセプトルゲルが雑菌に浸透し除菌プロセスが進行しますので、この待ち時間は重要です。)

③患者さんの診察後ごとのクリーニングで実施したA1またはA2の方法を再度実施し、ホース内の破壊された雑菌を洗い流します。

④再度、デカセプトルゲルを吸わせませす。2回目の操作は、夜間の雑菌の繁殖を抑制し、明日の診療のためにホース内壁にデカセプトルゲルを定着させるための操作です。



2回目の実施

ホース内壁にデカセプトルゲルを定着させるために2回目の操作を行います。

*注意:2回目のデカセプトルゲル添加後は、ホースの洗浄は行わないでください。(ホース内壁に付着したデカセプトルゲルが流れてしまいます。)

⑤バキュームホースをホルダーに戻します。

⑥次に、排唾ホースも同様の手順で実施します。

⑦患者さんの診察後ごとのクリーニングで実施したBのホース外側のお手入れを実施します。

注意:バキュームホースのお手入れをする際は、ゴム手袋の着用をお願いします。

新製品紹介 New product

エステチカ E70にスイングアームタイプ登場

新構造のスイングアームで手首への負担を軽減

エステチカE70は独自のサスペンド式チェアの採用や新開発の小型軽量・高トルクモーター(カボ LUX KL703LEDモーター)の搭載などにより、患者さんにも先生にもより快適にご使用いただけるユニットとして、ご好評をいただいております。

新たにスイングアームタイプ(S)が加わり、従来のテーブルタイプ(T)、カートタイプ(C)と合わせ3タイプのラインナップとなり、エステチカシリーズ(Eシリーズ)の中でも最も充実した品揃えとなりました。

スイングアーム部は、90cm長のホースと2段階ロック機能を採用しており、スプリングの引き戻しがなく手の中でバランスが保たれ、インスツルメントが扱いやすい機構になっています。また、モーターとインスツルメントの

重さがスイングアームでサポートされ、手首への負担も軽減されます。

さらに、既存のテーブルタイプ、カートタイプと同様の機能に加え、サージカル機能(インプラントモーター)をオプションとして搭載することができます。



発売日:平成24年6月21日

標準販売価格:6,800,000円

販売名:エステチカ E70 S
認証番号:222AIBZX00013000

ESTETICA E70 S

ポートピア デンタルショー 2012 KaVo新製品出展

「ポートピアデンタルショー2012神戸〜チーム医療が創る未来〜」が6月9日(土)、10日(日)に兵庫県神戸市のワールド記念ホール(神戸ポートアイランドホール)にて開催されます。KaVoブースでは、お客さまのニーズに合わせ

て進化する理想的なソリューションを提供するアーム型X線CT診断装置「KaVo Pan eXam Plus」、効率的に精度の高い治療を支援する「KaVo エキスパートシリーズ」などの新製品を含めた革新的なKaVo製品を展示

します。インスツルメントの体験コーナーも設置しますので、KaVo製品を直接「見て」「触って」実感していただけますよう、弊社スタッフ一同お待ちしております。

New
効率的で精度の高い治療のために
KaVo エキスパートシリーズ
新発売!!
KaVo quality with a long service life!
カボ エキスパートシリーズ
KaVo Expert Series

New PRODUCT
2D 3D
ニーズに合わせて進化する理想的なソリューション
KaVo Pan eXam Plus
アーム型X線CT診断装置
デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置
認証番号:223AIBZX00046000

3つのテクノロジーを一つのシステムに
マルチレイヤーパノラマ機能
ふたつの撮影領域を用意した3D
H6.1 × Φ4.1cm H6.1 × Φ7.8cm

KaVoグループ企業 Imaging Sciences International のご紹介

KaVo 3D eXamの製造元でもあるImaging Sciences Internationalは設立20周年を迎え、米国歯科医師が最も支持する歯科用CTとして5年連続Townie Choice Awards、最新のソフトウェアとしてDr Bicuspid Dental Excellence Awardを受賞し、トレンドセッターとして世界中のドクターをサポートしています。CTは診断に加え、治療計画、手術ガイド、デジタル模型、矯正器具器特注、CAD/CAMとの連携などの3Dソリューションも幅広く活用されています。CTソフトウェアには気道解析、3D

セファロ解析、TADの配置、顔写真を3D画像にラッピングする機能なども搭載し、顎顔面口腔外科医、矯正専門医、インプラント専門医、TMJ専門医など、多くのお客さまに支持されています。米国ではCTのシート色を16種類から選択するサービスも始まり、クリニックの雰囲気に合わせてカスタマイズ出来るようにもなりました。

KaVo 3D eXamはCT撮影で懸念される被ばく線量に関し、患者さんへのリスクを最低限に抑えることを最優先に考えて開発されています。

現在、世界で販売されている全歯列撮影に対応している歯科用CTの中でも非常に少ない線量で撮影できる機種の一つです。



～編集後記～

品川にショールームを移転し8か月が過ぎました。これまでに延べ1500人以上の皆さまにご利用いただきましたが、ショールーム眼下に広がる庭園についてよくご質問をいただきます。これは三菱開東閣という建物で、1889年に伊藤博文の邸宅地であったこの地を岩崎家が購入し別邸として使用した後、三菱財閥の社交の場として使用されてきました。11,200坪の生い茂る木々に囲まれ、上品で歴史を感じる洋館が建っています。一般公開はされておらず、周りに鬱蒼と木々が茂らせ外部からは建物自体が視認出来ないようにしてあるそうです。

ご意見・ご感想は、こちらにお願い申し上げます。➡ info.kavo-japan@kavo.com

※掲載されている写真にはオプションが搭載されている場合があります。※製品の仕様等は改良のため断りなく変更になる場合がございますのでご了承ください。



KaVo. Dental Excellence.

カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

東京本社 ● 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 Tel:03-6866-7480 Fax:03-6866-7481
大阪本社 ● 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-5-2 Tel:06-7711-0450 Fax:06-7711-0451
札幌営業所 ● Tel:011-716-4694 Fax:011-716-4692 ・ 仙台営業所 ● Tel:022-772-7375 Fax:022-772-7376
名古屋営業所 ● Tel:052-238-1146 Fax:052-238-1567 ・ 福岡営業所 ● Tel:092-441-4516 Fax:092-472-1844
<http://www.kavo.jp>